

背景・目的

- スタートアップは革新的技術で経済活性化や社会課題の解決を通じて未来社会を創造する牽引役。国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、自律的かつ持続的にイノベーションが生み出され、スタートアップが誕生・成長する関西の実現に向けては、多様なプレイヤーの共創や大学、研究機関等 知との融合がスムーズに図られる“スタートアップ・エコシステム”の推進が不可欠。
- 京阪神が国のスタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市として選定されたことは、オール関西のエコシステムの構築に向けた大きなアドバンテージである。大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアムと関西広域連合が連携し、域内の共通点や強みを活かし、役割分担しながら具体的な取組みの展開を図ることにより、域内の強みを一層伸ばし、関西のエコシステムの強化と効果的効率的なスタートアップ支援を進めていく。【事業目標年次：2024年度】

事業イメージ・局内推進体制

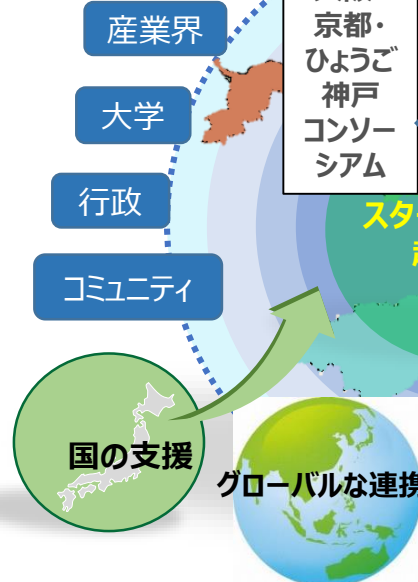
- 大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアムと調整中

グランドデザイン

我が国・関西が直面する課題

- ・高齢化
- ・人口減少
- ・イノベーション創出（国際競争力の低下）
- ・気候変動
- ・感染症（新型コロナウイルス）
- ・住み続けられるまちづくり など

（支援者の連携）



関西広域連合

- 【スタートアップにとってのメリット】
- シーズの集積
- 充実したビジネス環境
- 多彩な業種・人材
- 歴史・文化・観光

関西広域産業ビジョン

関西地域への人・モノ・投資・情報の流れを途切れさせることなく、多様な人々が集い、交流し、先導的モデルが生み出されるという好循環によりイノベティブな関西を実現

ライフサイエンス分野をはじめ、関西の強み、機会を活かした世界有数のグローバル拠点都市をめざす

2025年 大阪・関西万博  
（テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン）  
グローバル拠点都市として促進